

ひとりひとり自分らしく 個性と個性が生み出す調和
ハーモニー

まちづくり推進課（内線326）

令和5年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ

**無くそう思い込み、守ろう個性
みんなで作る、みんなの未来。**

6月23日～29日は「男女共同参画週間」です。誰もが活躍できる社会を実現するためには、一人一人が意識を変えることが大切です。自分の中にある「思い込み」に気付き、多様性を認め合う社会について考えてみましょう。

「アンコンシャス・バイアス」

アンコンシャス・バイアス（無意識の偏ったモノの見方）は、過去に経験したことや見聞きしたことから自然に培われ、誰にでもあるものです。日常にあふれ、それ自体が悪いわけではありませんが、無意識のうちにささいな言動に表れ、知らず知らずのうちに自分の価値観を押し付けてしまったり、自分や相手の可能性を狭めたりしてしまうなど、さまざまな影響を及ぼすことがあるため、注意が必要です。

小さな一歩が大きなアクションに
今日から始めようSDGs

政策推進課（内線514）

**異常気象で多発する
大雨から命を守ろう！**



出水期を迎え、台風シーズンにかけては大雨による洪水や土砂災害などが発生するリスクが高まります。非常用持ち出しバッグを準備する、ハザードマップで地域の災害リスクを確認する、気象情報の収集方法を知るなど、災害が起こる前に備えをしておきましょう。

SDGsの目標13は「気候変動に具体的な対策を」です。気候変動から地球を守るために、今すぐ行動しようと呼び掛けています。

地球温暖化により、大雨の頻度の増加や強度の増大、干ばつや海面上昇、穀物の収穫量の低下などが世界的に発生しています。こうした影響に対応して、災害時の被害を減らし、できる限り早く日常を取り戻せるようにしておくこと（適応）が重要です。

取り組んでみよう

- ・防災訓練に積極的に参加しましょう
- ・災害時の避難方法を家族と話し合みましょう

ようこそ手話の世界へ 福祉課（内線217）

これまでに紹介した手話写真の動画を見ることができます。



手話との出会い

私は小学校入学前に難聴と診断され、小学校から補聴器を使い始めました。小学校から大学まで健聴者と同じ学校に通い、口話で生活していました。

大学卒業後はシステム開発会社に入社し、入社数年は特に不自由を感じることなく過ごしましたが、段々とコミュニケーションができていないと仕事に支障をきたすと思いはじめ、悩みが増えてきました。そんなとき、同じグループ会社に在籍する聴覚障がい者の集まりがあることを知り、同じ障害がある人に会社でどう過ごしているか、この機会に聞こうと参加しました。私の場合、それまで難聴者やろう者との出会いが全くなかったのです。初めて参加してびっくり。飲み会形式でしたが、あっちこっちで手話での会話が飛び交い、それは健聴者の会話と同じでした。こんなに楽しい飲み会があるのかと初めて知りました。その後、遅まきながら手話サークルに参加し、手話を勉強し始めました。

**かんたん手話講座 「あなたのお名前は」
「あなたの名前」**



右手を前に



左手の平に右親指を当てる

「何ですか」



右人差し指を左右に振る



右手を前に出し、首を傾げる